

投稿年月日	平成 29 年 2 月 7 日	投稿者	北有馬中学校 3 年生
ご意見・ご提案 内 容	<p>南島原市活性化プラン「廃校を活用し、子どもの遊び場をつくる」</p> <p>わたしたちは、社会科の地方自治の授業で「将来的によりよい南島原市をつくるための活性化プラン」を考えました。昨年度の北有馬中3年生が提案していた「史跡巡りツアー」の中の廃校を活用したレストランが実現し、「南島原食堂」としてオープンしたことに胸を躍らせ、今後のさらなる展開に期待をしているところです。今年は、「若者の流出」や「廃校の有効活用」が課題であることをポイントに、「廃校を活用し、子どもの遊び場をつくる」プランを提案します。</p> <p>地元や市外の子育て世代を対象に、土日や夏休み限定で、子どもを遊ばせられる（預けられる）ことが魅力です。諫早市にある「こどもの城」みたいなイメージです。</p> <p>「廃校を活用した遊び場」の具体的なメリットとして、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①雨の日でも安心して子どもを遊ばせられる。 ②教室毎に、幼児、小学校低学年、小学校高学年など、遊ぶスペースが確保できる。 ③親も子どもを遊ばせながら、子育ての会話ができる。（子育て支援員などの無料相談） ④カフェをつくり、親同士、子ども同士の会話が弾む。 ⑤家庭科室で、親子で料理遊びができる。（講師を招いて料理教室もあり） ⑥図工室で、親子で工作遊びができる。（講師を招いて工作教室もあり） ⑦体育館で、いろんなスポーツができる。（講師を招いてスポーツ教室もあり） ⑧運動場（遊具）で、いろんな遊びができる。 ⑨校舎内で、かくれんぼや鬼ごっこができる。（子どもは夢中になります） ⑩帰省中の親子でも遊べる。 ⑪何軒かの仲良し家族グループで利用できる。 ⑫託児所みたいに、週末の一時間単位で預けられ、親はその間に自分の用事を済ませられる。 <p>以上のことなどから、さらに可能性が広がると思います。 講師に地元の高齢者を招くのもいいと思います。</p> <p>どこの自治体も地方創生のアイデアが次々に具体化しています。なかには女子高生がプロデュースしている地方創生プランもテレビで紹介されています。「南島原市の中学生が考えたプラン」というのも、インパクトがあり大きな宣伝効果があると思います。</p>		

<p>回 答</p>	<p>このたびは、貴重なご提案をいただきありがとうございました。ご提案の内容が2課に関わるものでしたので、以下のとおりそれぞれの課から回答させていただきます。</p> <p>【企画振興課】</p> <p>加津佐の旧山口小学校跡と旧津波見小学校跡には地域おこし協力隊員を配置し、イベントを含む様々な取り組みを進めています。また、西有家の旧塔ノ坂分校跡は「南島原食堂」として、そうめん料理を提供しています。これらの取組は、一部、みなさんのアイディアに近いのではないかと思います。</p> <p>その他の廃校の活用方法については、検討を進めているところで、方針が決まっているところもあれば、決まっていないところもあります。</p> <p>今回の提案についても、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>【こども未来課】</p> <p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>子育て支援については、市の重要な施策として取り組んでいるところです。</p> <p>核家族化が進む中、これからの子育てにとって地域との繋がりは大変重要です。廃校舎を活用した、高齢者や地域の人材と交流ができる場所づくりは魅力的であり、必要なものと思います。</p> <p>廃校となった学校は、地域とともに長年にわたり歴史を紡いできた施設であり、地域住民のみなさまの心の拠り所であり、廃校の賑わいは地域の活力につながるものと考えております。</p> <p>廃校利活用については、既に廃校を活用した放課後子ども教室や親子体験教室等を実施しているところです。今回の提案を参考にさせていただき、事業の充実に努めたいと思います。これからの南島原を担う中学生の皆さんが、自分の故郷を想い、地域の活性化を願い、提案をいただいたことに深く感謝申し上げます。</p>
<p>担当課</p>	<p>企画振興課・こども未来課</p>